



昭和48年12月10日発行

第169号

東頸城郡松代町公民館

電話松代 301 番 印刷 极代印刷所

館長 関 谷 昭

29日、蒲生人 線の舗装工事が 四年前に着工 ました。 - を会場に竣工式が挙行され、蒲生入口地点及び町総合セ舗装工事が完成し、去る11月年前に着工した一般農道萱場

す。その総事業量は幹となる道路の整備事業でありま業経営の合理化をはかる、その基業の農道は山平地区における農

巾員四・ || | 負四・五 | II. IIIO m · Ŧī. 有

劾

八千四三一万六千円事業費

年度毎事業量

般農道萱場線舗

| 48 | 3 | 47 | 46 | 45 | 年度 | 1 |
|-------|---|--------|--------|---------|----|----------|
| 五カー | | 1,10 | O国O, I | 四〇 | 延 | |
| Ć |) | 00 | Ö | 到()() # | 長 | 44.4 |
| 14717 | | 二五、三四〇 | 二四、六五〇 | 六 | 事 | |
| 7 | 7 | 三 | 六五 | 占 | 業 | |
| 7 | - | Ö | Ō | 六、七〇〇古 | 費 | |

五 面 農 部 受 益 関 係 一○四部落 四部落 し

そ畑田

他 三 六六二八 〃〃〃ha

施行者計で 福田道路株式会社

一、も容易になり地域振興の動脈にない、一員の延長等がなされて立派な道的としての幹線でもあります。すた、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また、この道路は広く一般の交通また。

【写真】 地整備課長と町長竣工式でテープを切る県農

(1)

田代 置場線 室野へ 松江山

国道三五三

校に 巡に 回つ by by the たて **ま** しはす ま終

と観覧をお待ちしなさんのご出品

て

町書初展覧会

町総合セ)受付と会場 のなたもご出品を。 1月17日午前10時 1月18日午前10時 後4時 1月19日午前10時 後4時 1月19日午前10時 1月19日午前10時 1月19日午前10時 1月19日午前10時 覧 7 後 できまり (19) は (時19時18 すけま月前 C 19 10 10 も日時 いはし

観夜午

・時は

防

末年来 始年 のの 特月 防 10

にい りたを住幹町 化で 協年みの件行宅線防そ期の12 で、3日、松代 一斉防犯診断 一斉防犯診断 大、注意され 一斉防犯診断

冬にそなえて まず 防火 勝場

よでがん新く般までするな年自のす。 りかを由部。

ますり

い。また、作品は終了後ませんのでおきましたときは組 し、作品は最善をつくます。どんな作品でもは し、作品は最善をつくます。だんな作品でもととに かたしますが、万一、破 とし、作品は最善をつく をする。だんな作品でもは ができましたときは がです、競書ではありませ です、競書ではありませ です、競書ではありませ

後ご補破く結覧、せばとた お出償損し構義みんなーし

ンタ

寒さとともに、また火災シーズンがやってきました。防火の第一歩は"火の用心"ですが、 火災の原因について調べてみますと85%は自分の不注意から出たものです。

そこで今回、皆さんが一番使われる石油ストーブやプロパンガスについての取り扱いには、 つぎの点について十分注意して使用して下さい。

◎ 石油ストーブ

- 1. 油をつぎたす場合は、火を消してから行なう。
- 2. 火のついたまま移動しないこと。
- 3. 不燃性(燃えないもの)の台の上で、水平に置いて使うこと。
- 4. まわりに、燃えやすいものを置かないこと。
- 5. 転倒のおそれのあるところには置かないこと。
- 6. 障子・カーテンからは、30cm以上はなして置くこと。
- 7. 灯油の保管は日あたりのところを避けること。

⑦ プロパンガス

ガスは空気より重いので、もれると低い所にたまりますので、マッチ等をすった時に爆発 を起す危険があります。

- 1. 器具はプロパンガス専用のものを選びましよう。
- 2. ゴム管はできるだけ短いものがよく、接続部にはホースパンドをつけましょう。
- 3. 火をつけるとき、臭いでガスもれのないことを確めましょう。
- 4. ゴムホースには、キレツがないかどうか、定期的に調べましよう。(石けん液で)
- 5. 寝る時、また出かけるときには、必ず元栓をしめましよう。
- 6. ガスボンベが、目光の直射をうけたり、著しく加熱する所や、雨雪にぬれない所、物 が落下したり、ショウゲキを受ける所はさけましよう。



は み 'n な

昭和48年度松代家畜市場取引集計表

| 地 | 区 | 別 | 松代地区 | 山平地区 | 奴奈川地区 | 浦田地区 | 松之山地区 | 計 | 備考 |
|------|-----|-----------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--|
| 取 | 川頭 | 数 | 53 | 31 | 10 | 78 | 39 | 211 | |
| 取 | 八金 | 額 | 13,900,700 | 8,627,000 | 2,634,800 | 22,729,000 | 10,715,400 | 58,60 6,900 | 最低価格欄 |
| 最高価 | , | ス | 354,300 | 370,000 330,200 | 310,100 280,000 | 418,100 | 350,500 330,100 | 418,100 330,200 | 1.松代地区の ヌス100,100円は |
| 価格 | オ去 | ス勢 | 329,000 293,000 | 341,100 | | 350,200 | 305,000 | 350,200 | メクラ 2.奴奈川地区の |
| 最低価格 | メオ去 | スス勢 | 100,100 217,000 224,000 | 215,100 204,500 250,100 | 270,000 50.100 — | 130 100 275,000 215,000 | 230,100 230,000 201,000 | 100,100 50,100 201,000 | オス50,100円は 畸形 3.浦田地区の メス130,100円は |
| 平均価格 | メオ去 | スス勢 | 275,371 246,350 267,443 | 273,362 252,228 300,700 | 296,086 187,400 | 298,345 292,550 285,074 | 280,144 271,825 269,092 | 286,270 250,171 282,152 | メクラ |
| 総平 | 均值 | 五格 | 262,277 | 278,290 | 263,480 | 291,397 | 274,753 | 277, 7 58 | |

たか / \客 おことで たってれぞ たってれぞ 分娩させる 毎年子牛を一頭の牛に と言うが に五年十 頭の牛に `年

(ほしば)

れ表彰され盛大な拍手を浴び合した席で、左記の方々がそ催日に、畜主及び家畜商等多一月十四日の松代家畜市場最 ます。

には 一大切で、 次 のことが 冬な狂 7 乾い

-連産表彰式挙行さる

ともすると子牛が 十分与えて下さ えて下さい。 夏は青草、 でればそれでよい いなりにとよい飼料 なりにとよい飼料

仙納 室岡忠俊さん十年連産特別表彰者

~良い事はみんなで協力実行いたしましよう~

年頭の廻礼は元日かぎりとし

年始よびは自粛しましよう。

(できたら年頭の廻礼はやめ

合同年始会を開きましよう)

- 年始など形式的な贈答はやめましよう。
- 元日から祝日には必ず国旗をたてましよう。
- かけごとはやめ、健全な遊びで お正月を楽しくすごしましよう。
- 火の元や盗難に十分注意しましよう。
- 節約して貯蓄をいたしましよう。
- 出稼ぎの人に正月のようすなど 便りを出しましよう。

乳が多く と生れ のですが妊 を与えるが 復が遅れ次 出るようにとよ

をなり昨年の二、三倍という高値表のとおり平均価格約二十八万円価格十二万円であったが今年は別価格十二万円であったが今年は別部判になっていたが、こんな高値評判になっていたが、こんな高値部

今年は春先きから子牛の頑は別表のとおりである。巾場の全日程が終了した、

全日程が終了した、その成月十四日を最後に松代家畜

たれ数終 十 ° ぞ 集開 十 れ し ト

成績まとまる

松代家畜市場の売上

と予想されている。 とも急激な価格の下落はな界中不足している状況なの

なの いでな も将 く の来世

0

蓬平

小堺三雄さん

(ちょうきち)

儀明

小堺寅吉さん

(きゆうぜん)

(はらんそで)

蒲生 小堺恵一さん五年連産表彰者

池之畑

市川丁

からな

うまくゆ

っ

(ひこえん

の不足は日がされた。

。 え運動も適度に出来るようなるよう窓や外口を工夫するこの、 既は夏は涼しく、冬は温かく、 既について 年同じ つること 百以 内に授精する

足です。(畜産係) い時期か、かえっ い以内に授精授胎

(3)

にま ်၀ え て証 あ明 用 すは

乜

関い語のにさ

立の を近お深つ暖課れ

で間同意払届を保家にもなるととなる。 で間にくるといいのでは、 まるのでは、 まる まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 まるのでは、 ま 誌

くださ

い前

らず

(国民健康保険係) お持ちになっ

持参の 一持参の 月日 送付 遠隔 な 築 る居出 の証 を保健 5 し地 油出しなければな すえ役場国保係に りえ役場国保係に の国保被保険者証 て 保険者になっている。 い証証 と明とし

I 日以内 たさい を二重 される主に支

健康家庭にお祝いを

先般、本年国保強調月間に伴う趣旨普及事業の一環として一昨 年から実施しております健康家庭に対するお祝品の贈呈がなされ ました。お祝品を贈られた家庭は5年以上、3年以上、1年以上 の3段階に分けられ、その期間中医療給付を受けなかった世帯で す。健康はみんなの願いで誠にしあわせのことですので本誌にご 紹介致します。

贈呈されたお祝品

- ∫大型ヘルスメーター1 台 ・5年以上の健康家庭
- 3年以上
- 大型ヘルスメーター1台

大型寒暖計 1年以上

≪お祝品を贈られた世帯≫

● 5年以上医療給付を受けたかった世帯 (昭和43年度~昭和47年度)

| - [| -10-1-1 | | 12 X1 | 17.11 | 7/- | 167,444 | いけない | ロノー校 | ◆同日本けます |
|-----|---------|----|-------|-------|-----|---------|------|------|---------|
| | 部 | 落名 | 世 | 帯 | 主 | 氏 | 名 | 家 | 号 |
| | 犬 | 伏 | 山 | 本 | | 芳 | 雄 | 芳 | 屋 |

❷ 3年以上医療給付を受けなかった世帯 (昭和44年度~昭和47年度)

| | | | ,. | | | |
|-------------------|----|----|-----|----|------------|------|
| 部落名 | 世 | 帯 | 主 氏 | 名 | 家 | 号 |
| 蒼 刈 海 老 | 相若 | 沢月 | 三ナ | 男力 | 幸 左 忠 左 | 工門工門 |

❸ 1年以上医療給付を受けなかった世帯 (昭和46年度~昭和47年度)

| 部落名 | 世帯主氏名 | 家 号 |
|-------------------------|---|--|
| 松代 | 室 沢 正 臣 | 太 夫 様 山 口 屋 四郎右工門 |
| 小荒戸 | 宮中高島関柳五富大柳山池小中山塚村仲沢村橋田谷 井 岸田林村岸田松村派村橋田谷 井 岸田林村岸田松村 嵐 向 嵐 向 | 山 口 屋 四郎右工門 |
| 小 荒 戸 千 年 | 島田辰治 | 忠左工門 |
| " | 関 谷 吉 蔵 | 孫言 |
| 会 沢 | 柳 金兵有新 五十嵐 政勝 | 田 保 天 京 |
| 海 老 | 富一井。ターケ | 关 |
| 片桐山 | 大日向 忠治 | うちらん |
| 田野倉 | 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 | 吉兵工 |
| 11 | 池 田 栄太部 | 大 複 |
| 田代 | 外次健政喜仁 外次健政喜仁 外中山塚村仲 村中山塚村仲 | 西の脇 |
| 寺 田 | 山岸健吉 | 鉄京治 |
| 寺 用 業 要 | 塚 田 政 雄 | 中,水 |
| 段り | 村 松 曽 一 郎 | じゆう助大 |
| " | 一种 村 トップ | 松右工闁 |
| 福島 | 宮中高島関柳五富大柳山池小中山塚村仲仲小美谷牧沢村橋田谷 井 岸田林村岸田松村村堺沢村橋田谷 井 岸田林村岸田松村村堺田 は | 忠孫田天大う吉山大西隠鉄中じ大松鍛徳梨福左 兵勝 の 京 う エ の田工 兵勝 の 京 う エ の田門吉保京下ら工屋槇脇居治水助西門治院木屋 |
| 18 英 | 美濃和政則谷沢由太郎 | 似の大 |
| 峠 | 牧 田 清 | 福田屋 |

出稼先 の健康保険 E された方は届出

けたあ日 でしたしたしてした。 な ので 家で出 妆 の稼 ん。届出る。出稼され、加入と 出され療 方法は、保険に はっつ 松職い 代場て 町の 役健お

旬

りね降かの掃前 雪ま している がとなっ とれに らるれに らるれた ら 惜たり \$ やの南 た口せ る変長米や落 然りはるけるにはなける。 火け 鉢り カ゛ りりり

東本あ杉煤

困 9 た 達

お

ば心れ感にいはこのた七で係程説申人せ暖ま謝し心」と用ゞ百し課全明合たままし申たをごに途ち八たへ部しせち 化早の教生 ちそ祭 たした生寄り社社によった。上のかり社社 協力を寄 のの開 ・したい でを依頼 されたい の附 益金 包 が と、教育 たものを、 参集 高橋社会である。 也 0 l ょ三 喜頃らく様が長るそり千の関のにでな画のた

为世. 風邪

*5

すにやそれ か全れ

っらや力に思の

て体すがよわで

なの寒ふぜ身はのぜ なの寒かをからなりではんりではんりではんります。なりなりない。これになったいますにいるからない。

かもをい弱っれ

でがさ

0)

すかに病源

染病

Ó

行

やって来ました

~ かぜは万病のもと ~

「かぜ」の季節が

な抵きとってが寒い抗たいてはちさ 百 な 五 か い 力が えりいな

ルが落ちな いるときに するときに

あると

てス

なにい

れルすぜ合かき抗 った

か

を続けることが大切では、次のことを十分にかぜにかからないと すりに する

らが Ø

五に上 二~六回行うこうがい水が上を向いて、 行くようにして、のどの奥まで十分

聞気とたるだいう きだれらだらい すず何ろら診

てもかってもか

つったら他の症状がでなったられて放っておい

良の状おで風ぐ新がい治邪

考えれておいておいておいておいている。

て直せ

に始冷日 北め水で 皮膚をじよう たがった時間 空気浴、 って段々とそって段々とそのなどを毎日続け する。 なれる。 ッ、

栄養をとる

州」と考えられませんが、これも始め、

知れません。 と気道の。 とれません。 を行いたれない。

った ての

いおか っく 4

のものとビタミンな特に冬は油のようなスのとれた食事を知りない。 をとる。な高カロな高カロンな高カロンな高カロンで、ババッグ 。ラ豆

کے

過労をさける

夜ふかし **睡眠と休息に心がける** は禁物、早寝早起きを

しまつ

汗をかいたら、自を調節する。 心着を替える。 てをかいたら、

を は必ず予防注射を とれば毎年十一日 ものにインフルエ き間にあいません う間にあいません は必ず予防注射を は必ず予防注射を は必ず予防注射を は必ずの中でも、 変かぜの中でも、 変かがしません。 て下さいる間にあ れをする いなかっ んなか がか行 7頃松代 つ つ て かます 悪質な

ぜ治療のきめ

K 三三元

をとって体を弱いたら、かぜを引いたら、かぜを引いたら、 医師に診てなお、次のない 砂てもらって下さい。 いのような場合は直が 大切 ですせ養 ないよれのある。 う食事 は 7

体温 いたより る特に あ症る状 とき。 が

て

で、かぜは主として、ヴイルスと症状のインフルエンザにいたるまちよっとした鼻かぜから、重い

水

でで進めばいがって行

へ 炎扁、さ即々治 、桃下らちに療

P

れ諺囲炎扁

②捨て犬は て畜

…子が 必要で な Ų, 場合

ゕ けないよう正しく犬を飼って下さい

| | A からだのつかれ | | B 精神のつかれ | | C 神経感覚のつかれ |
|----|--|-----|---|----------|--|
| | 症 状 | 〇印欄 | | ○印欄 | 上 症 状 〇印欄 |
| 1 | ・頭がおもい | ! | ・頭がぼんやりする・頭がのぼせる | 1 | ・目がつかれる ・目がかすむ ・目がちらちらする |
| 2 | 頭がいたい | | 2 ・考えがまとまらない ・考えるのがいやになる | 2 | ・目がしぶい ・目がかわく |
| 3 | • 全身がだるい | | 3 ・一人でいたい ・話をするのがいやになる | 3 | ・手足が思うように動かない |
| 4 | 体のどこかがだるい体のどこかがたい体のどこかのすじがつる | | 4 ・いらいらする | 4 | ・足もとがたよりない ・ふらつく |
| 5 | • 肩がこる | | 5 ・ねむくなる | 5 | L 32 16 3 3 |
| 6 | ・息苦しい・むな苦しい | į | 6 ・気がちる | 6 | ・目まいがする |
| 7 | ・足がだるい | | 7 ・仕事をするのに気乗りがしない | 7 | ・まぶたやその他の筋がびくびくする |
| 8 | ・つばが出ない ・ロがかわく | | 8 ・一寸したいことが思い出せない ・ど忘れをする | 8 | ・耳がとおくなる・耳なりがする |
| 9 | あくびが出る | | 9 ・することに自信がない ・することに間違いが多い | 9 | |
| 10 | ひや汗が出る | 1 | 10 ・物事が気にかかる ・物事が心配になる | 10 | ・きちんとしていられない |
| | 計 (○印の数) | | 計 (〇印の数) | :: : | 計 (○印の数) |
| | | £ | 合 計 | 点 | |

○の数が多いほど疲れがひどいことになります。

○の数が六つ以上になったら高度の疲労か、何らかの病気がある。

○の数が三つ~五つは軽い疲労。

○の数が二つまでは普通。

死

これはあくまでも一応の目やすです。場合によっては〇印が少なくても病気があるかも知れませんし、〇印が多くてもただの疲れであるかも知れません。 早期発見早期治療の観点からも、自分の身体に異状を感じたらこれを機会に医師の診察を受けてたしかめて見ることも必要かと思われます。

広報「まつだい」を 出 稼 先 へ

この広報を読み終ったら、 ふるさとのニュースを待ちわ びる、出稼先の夫や父や子へ 送って上げて下さい。 牧村牧桑若柳小山賀 田山田原井 山賀 シ太マ 善幸 馬イリノ ノ郎 セ吉吉蔵シイ

米 持義 相沢和子

労 (室野) 安 (蒲生)

おめでとうっこんい

戸籍の窓口か

(6)

遊ばない子は育たない

1. 子どもの遊びは、遊び自体が学習です。

2、3才児は、絵を描くことが大好きです。小さな紙に満足 できなくなったり、紙が無くなったりすると、目の前にあるも の(本・机・畳・壁など)に手当り次第、落書きを始めます。 時には、鉛筆やクレヨンの代わりにスプーンや棒切れをこすっ

て使うこともあります。子どもは、遊んでいるうちに、新しいことを 発見して驚き、同じことを何回も繰返し続け、また、様々な方法で試した り、工夫して遊ぶのです。遊びは、運動能力やからだの成長発達を助ける と共に、知識・ことは・交友関係を学習し、創造力・思考力などを養う機 会となっているのです。

2. 「よく遊ばせる」こと。

子どもの生活は、一日中が遊びです。ですから、おとなは子どもを「よ **く遊ばせる** ことを考えなければなりません。「よく遊ばせる | ことで重 要なことは、親が長い時間相手となって遊んでやることよりも、子ども自 身が遊びに熱中できるように配慮することが大切なのです。親は、①子ど もの年令にふさわしい玩具や用品を整え、②危険な遊びや、してはいけな いこと以外はできる限り自由に遊ばせ、③遊び相手になった時は、すぐに 手助けをせず、子どもがどう工夫し、切り抜けるか、見守ることが肝要で す。

県立新潟女子短期大学講師

病気の症状と家庭での注意

ここには心配な病気の症状を2、3あげてみました。

1. ひきつけ(けいれん)は熱のために起こる場合が多いの で熱がある時は早目に手を打って予防しましよう。また、両親 が子どもの時にひきつけたことがあると、子どもにも起き易い ものです。もし起きた場合には、とりあえず家庭では浣腸をし

ておいて下さい。ひきつけは誰もがびっくりして、うろたえますが、その まゝ大事に至ることはありませんから、慌てずに医師を呼びましよう。 押さえたり、抱きしめたりすると、かえって強くなることがあります。

2. 吐くことは病気が重い時の症状です。脳の病気・下痢・自家中毒症 ・その他たくさんの病気で吐くことがあります。1日2回以上吐き、顔色 が悪い(または赤い)時は、早く医師の診察をうけましよう。

3. ぜんそくはこの年令では少なく、むしろぜんそくによく似た気管支 炎が多いのです。しかし、アレルギー性体質、たとえば湿疹・ストロフル スのある子どもは気管支炎を繰返していると、次第に本当のぜんそくにな ってしまうことがあります。まず、湿疹・ストロフルス・気管支炎・むし 歯・虫さされなどは早く治しておきましよう。また、生卵子・生牛乳な す・たけのこなどの食べ物はよく煮て与えることが大切です。

> 堺 新潟大学医学部助教授

董

-町の家庭教育学級ਊは1月22日13時から<親子の楽しいゲーム>総合センターで~

- 1・2の3ちやん-

幼児の家庭教育シリーズをごらんください。

■放送時間/BSNテレビ 毎週日曜日午前9.80~9.45

≪1円貨を使いましよう≫

1円貨について年々退蔵性が強まり、発行量が多いに もかかわらず保有が高まって不足してこまっています。 1円を有効に使うことは消費支出の合理化につながり ます。家庭に眠っている1円貨を有効に使いましよう。

のつは示 Ŏ すの もだ松下登ま字 のい代さ載す原 に係町いする の充 っ翌にいて お十毎投をせ は り自月 稿おる とで に毎月五い ため公 Ŋ まに

て お IJ

野山 地 代道平代 小 山建 中学校 菜設岩倉 加公瀬島 工団吉 Ą 八九七住 三五三 一五三宅 五元二 五九九

話番号異動 0 知 ら



ク みん なで参加 プ を うく IJ ま よう

でにで す在あ 在り他の地でありますが、 -**j** 他の地域の方の参加は困難はすが、ほとんど大字松代のグループ名は次のとおりく(公民館調べ)がありまはいま十九のグループ/女はいま十九のグループ/女 な困難の字松代 ま文 ŋ

言いますと、いる 活動の育成を重点 とた。また、一方 でみなさんが容易に が容易に がである。 呼び のくり、学のなけるでは各部は人では各部は Ħ 各部落りてまい きる施 o 施毎にまして

ニッパーフをつくり、学ぶ」と 言いますと、いろ / \めんどうに 君の集りであることはもちろんで すが、講師は町内の人を依頼し、 すが、講師は町内の人を依頼し、 すが、講師は町内の人を依頼し、 すが、講師は町内の人を依頼し、 なで研究しあう等、気がるに楽 んなで研究しあう等、気がるに楽 んなで研究しあう等、気がるに楽 んなで研究しあう等、気がるに楽 れば案外うまく行くものと思いま すが、講師は町内の人を依頼し、 なたがるに楽 れなさんが今後グループをつくり 、みれさんが今後グループをつくり、 といますと、いろ / \めんどうに でも こんが容易に集 こんが容易に集 しんが容易に集

公民館で調べたグル ープ

青年音楽同好会 (松代・伊沢)

会 松代町園芸愛好会(松代)・松代民謡会・民謡同好おどりの会(松代・つく

代会

年 音 楽 同 슾

す。 B \mathcal{O} の問題を話し ,と伊 年町 問題を話し合い人格形成につと。 音楽に親しみながらいろく〜と伊沢地区の青年15名の集りで 10 に住 月発足しました。 む青年の同好者で、 現在は松

総合文化祭芸能発表会練習日は原則として 果を発表、 があれば演奏 7 ス パ れば演奏いたします。ハーテイ等に、そのほ また、 成人式、 会で練習 て週三回、 か依 クリ Ø ス成町 賴

合セン は 会 長 る 費 (は市川寺) は月額 ・勤務) 川啓一(加藤都縫製工器購入にあてました。御一人当り千円、今年

松 代 柔 道 教 室

指導りで、 ます。仲間 に柔道 導もして タ は ます š の希望に Ōø)枚を階 名人てし ののいてル

会に参加させたい計画です。後一層練磨して来年は学童の政化しています。昭和47年7月20日、青少年の体力づくり・不良上、青少年の体力づくり・不良上、青少年の体力づくり・不良上、青少年の健康保持と技術の ほ己か負 か有志からい 担です。 市川健一 口克巴(松代病院勤務) らいただいています。運営費は町の浦時 (松代郵便局勤 し柔道衣 柔道教室風景】 ます 助のは自 ٥

欄に つ (, τ

どしく~お問合せ下さい。りお知らせしたいと思います。て、この欄をとおしてできるかぎて、この欄をとおしてできるかぎ って、み ぎい